

厚生文化部を担当して

(7組) 石井 平

私は20年間住んでいた市内高柳西町から、田中野田へ越してきたのですが、まだ町内のことが何も解らないうちに7組の役員をお引き受けすることになりました。

回覧板や配りもの以外に町内会専門部の活動があり、厚生文化部に配属されました。厚生文化部の活動というのは、町内会規約によると、「各種リクリエーション・文化的活動等を行なう」となっています。内容的には夏まつりの開催と、田中町内会との合同親睦グラウンドゴルフ大会の開催が毎年行なわれています。

聞いてみると町内の最大イベントが夏まつりということで、その実行委員長を務めるらしいのです。新しく越してきた者が、そんな大変な役を簡単に出来るわけもないと思っていました。しかし、これまで20回近く開催されており、経験豊富な先輩方がおられ、子ども会育成会、体協、婦人部等の協力者が沢山おられ、その方達と連携をとりながら、町内の「心に残る楽しいイベントづくり」に、一緒に参加する場をつくって頂いたと理解し活動することにしました。

会合での打合わせ、予算のこと、事前の準備、設営…、会員の協力で段取り良く行なうことができました。そのうちに段々と様子も解りだしました。当日の運び、後片付け、翌日の清掃まで、皆さんに気持ち良く行なって頂き本当に助かりました。委員長としての役目が本当に来たとは言えないのですが、参加させてもらって良かったと思いました。

又、秋のグラウンドゴルフもお年寄りから子どもまで、一緒にとても楽しい一日が過ぎました。

部としての新しい企画等はできませんでしたが、この2年を通して感じたことは、役をさせて頂いたことにより、町内の一員になれたと実感できたことです。つたない役員でしたが、会長さんをはじめ皆様のご指導により無事終わられたことを感謝します。

グラウンドゴルフ用具の貸し出しについて

これまで本紙でもお伝えしておりますように、町内会で用具を購入保有しております。いつでも貸し出しますので、町内の団体・グループ・個人など、どなたも自由にお使いください。スティックなどは24組あります。常時貸し出しますので、遠慮なくいつでも町内会長へ連絡、申し出てください。

町内会理事として2年目を迎えるにあたって

(2組) 国只 達也

町内会の役員を仰せ付かって、ちょうど1年がたちます。この1年町内会の行事にいろいろと参加できたことが、たいへん楽しく思い出されます。

私宅は、約5年前にこの田中野田の町内に引っ越してきました。これまで町内の行事に参加したこともなく、役員は引き受けたものの、「何をすればいいのか」分からず、また町内の皆様の名前も顔も家の場所もまったく分からず、正直なところ不安な気持ちがありました。これを機会に1年間を振り返るとともに、専門部会の活動の一部を紹介させていただきます。

町内会の専門部会では広報渉外部に所属し、「ふれあい新聞」の編集の仕事にかかわることになりました。当部は、理事の田村光夫さん(5組・14歳妹で専従)と私(2組)、それに小原正行さん(副会長)、協力者として平尾重太郎さん(8組)の4人で活動しています。

本紙は年4回発行しており、そのたびに編集会議を開催し、町内会長をはじめ役員の方々と、記事の内容等について協議しております。今後は「電子町内会」への取り組みを活性化させ、本紙と融合させて、情報の発信能力の向上が考えられております。

今後とも多くの皆様にご協力を仰ぎ、あと1年、役員としてがんばりたいと思いますので、どうかよろしくお願ひします。

福祉を考える集い

去る3月8日田中野田公会堂において、福祉にかかわる各種団体の代表者による会がありましたので、その概要を報告致します。

民生委員：一人暮らし老人6人、緊急システムなど自立を助ける方向で、個別に対応している。

白寿会：一人暮らしの方を中心に助け合い、見守り合いの体制を早急に再考したい。

愛育委員会：育児や悩みについての相談は、遠慮なく愛育委員に申し出てほしい。

子ども会：三世代交流は皆様にたいへん喜ばれているので、もっと充実・発展させていきたい。

町内会：福祉のまちづくりの一環として、福祉を考える集いの強化、充実を図りたい。又家族内、近所の人、友人等を中心にあいさつ運動をすすめたい。各種団体でも取り組んでほしい。

(広報渉外部)